



夜桜（鬼脇北見神社）



定例会3月会議

【主な記事】

- 今後の方針を問う（一般質問）…………… 2～3
- 行政報告 …………… 3
- 令和8年度予算審議等 …………… 4～11
- 委員会レポート …………… 12
- 議会日誌、編集後記 …………… 12

令和8年5月

NO 210



一般質問

戸嶋郁夫議員

～解体費用の一部助成について～



戸嶋議員 最近わが町内も高齢化に伴い、空き家が目立つようになりました。空き家バンクなどの施策などもあることは知っておりますが、十分に生かされているとは思いません。そうしている間に家が傷んでいく姿を見ていくのは忍びなく、残念に思っているところであり、放置されている家が目立つようにもなりました。解体するには多額な費用が掛かりますし、それを促すためにも解体にかかる費用の一部を町が助成してはどうかと思いますが、町長の所見を伺います。

町長 空き家の放置は、建物の倒壊や部材の飛散といった安全上の問題に加え、景観の悪化や防犯・防災面においても地域に影響を及ぼす恐れがあり、これまでも議会等で議論されているところであります。その都度、空き家等は所有者等の財産であり、所有者が責任をもって解体撤去、売買、譲渡も含め対応するのが基本であると答弁し、また、国において平成26年に空き家等対策の推進に関する特別措置法が制定され、市町村は必要に応じて、空き家等対策計

画を策定し、行政としての基本姿勢を住民に示しつつ、空き家等の活用策についても検討することが望ましいとされておおり、本町としても空き家対策の制度設計等を検討してまいりますが、職員の体制等も絡んで進んでいない状況でありました。しかしながら、適切に管理されない空き家等の相談、通報が増加しておりますので、地域の安全と生活環境及び良好な景観の保全を図り、空き家の適正管理と活用を推進することを目的として、令和8年2月に利尻富士町空き家等対策計画を策定いたしました。これを踏まえ、質問

にありますが、令和6年3月議会の中でも解体撤去の促進に係わる助成金制度創設の質問があり、私から助成金制度の内容や金額等、近隣町村の状況を調査しながら、令和6年度中に判断いたしますとお答えしておりましたが、結果として先程申し上げました職員体制等もあり、制度設計には至っておりませんでした。今後につきましては、策定した計画に基づき解体費用の一部を助成する制度創設に向け、実

施基準や執行手順等について、先行自治体の事例を参考に検討を進め、令和8年度中に制度を整えたいと考えており、庁舎内連携を図りながら、空き家対策への対応を進めてまいりますので、ご理解賜りたいと思います。

戸嶋議員(再質問) 空き家対策問題というのは、解体するにあたって多額な費用がかかりますし、そんな単純で簡単な問題でもないというのも事実だろうと思います。相続問題や更地にした場合の登記の問題、固定資産税等々もありますし、やはり一人人が解体する費用の全額を払うというのは、なかなかの負担であると思います。その登記も今やらなければ後々大変なことになっていくということは、過去の道路の用地買収の時にも経験していることだと思います。そうしたことから、やはり家が欲しいという人たちがいるということも事実でありますし、移住・定住を含めると、空き家バンクなどがきちんと起動していつてくれて、それでリフォームして住んでいただくという考え方も必要だと思えますので、ぜひ、そ

令和8年度総予算額（一般会計・各特別会計・公営企業会計）

79億2,116万円を可決

【歳出内訳】

一般会計	予算額	前年増減	前年度比
議会費	4,537万円	13万円	0.3%
総務費	11億1,538万円	7,524万円	7.2%
民生費	7億5,838万円	3,198万円	4.4%
衛生費	3億6,204万円	3,746万円	11.5%
労働費	9万円	0円	△ 1.1%
農林水産業費	1億9,466万円	1,078万円	5.9%
商工費	2億1,378万円	△ 1億2,984万円	△ 37.8%
土木費	12億7,865万円	1億5,209万円	13.5%
消防費	2億5,454万円	5,653万円	28.5%
教育費	3億7,125万円	8,150万円	28.1%
地方創生費	2,037万円	△ 812万円	△ 28.5%
公債費ほか	11億3,679万円	2,635万円	4.8%
歳出合計	57億5,130万円	3億3,410万円	6.2%

【歳入内訳】

一般会計	予算額	前年増減	前年度比
町税	2億7,475万円	266万円	1.0%
地方譲与税	2,539万円	0円	0.0%
地方消費税交付金	7,000万円	0円	0.0%
地方交付税	23億9,000万円	1億1,000万円	4.8%
分担金及び負担金	1,818万円	△ 44万円	△ 2.4%
使用料及び手数料	1億4,052万円	577万円	4.3%
国庫支出金	2億2,126万円	△ 7,838万円	△ 26.2%
道支出金	4億7,493万円	1,787万円	3.9%
財産収入	3,921万円	1,256万円	47.1%
寄付金	5億5,500万円	0円	0.0%
繰入金	6億5,030万円	△ 1,380万円	△ 2.1%
繰越金	1,000万円	0円	0.0%
諸収入	1億377万円	406万円	4.1%
町債	7億7,840万円	2億7,380万円	54.3%
その他	41万円	0円	0.0%
歳入合計	57億5,130万円	3億3,410万円	6.2%

令和8年定例会3月会議は、3月11日～13日の3日間開催され、町政執行方針、教育行政執行方針のほか、令和7年度各会計補正予算、令和8年度各会計予算、条例改正などを慎重に審議し、いずれも原案通り可決しました。

建設事業に **13億2,980万円** 一般会計・特別会計 総額

【主な建設事業】

○職員住宅建設工事	1億3,910万円
○庁舎照明LED化工事	6,340万円
○北のしーまボイラー更新工事	1,150万円
○総合保健福祉センターエアコン設置工事	1,364万円
○小規模治山事業（湾内）	2,250万円
○離島漁業再生支援交付金	4,469万円
○特定有人国境離島漁村支援交付金	3,250万円
○町道改良工事（鷺泊市街1号線・鷺泊市街中央線）	1億4,900万円
○除雪ドーザー購入費（鬼脇地区）	5,400万円
○鷺泊港整備事業（鬼脇港区防波堤改良）	3,840万円
○鷺泊市街地街並み整備事業（ポケットパーク、休憩所、トイレ等）	1億900万円
○公営住宅個別改善工事（第二舟見ヶ丘団地、富士野団地）	1億840万円
○空港ロータリー除雪車購入費	1億円
○鷺泊スキー場ヒュッテ建設工事	1億1,383万円
○特定環境保全公共下水道事業改築工事	9,350万円

令和8年度予算審議(要約)

総務費

自治会館の有料貸し出しとPRはできないか

自治会の判断で、PRは難しい

Q佐々木議員 各自治会館の利用について、自治会以外の方々に有料で貸し出すことができるのか。また、町のホームページやSNSなどそのことをPRすることはできないか。

A総務課長 自治会館自体は、自治会所有の建物ですので、その管理運営等については、それぞれの自治会で検討し判断していただきたいと思っています。また、PR等を町のホームページ等ということでは、いろいろな問題が考えられますので、現状ではちよつと厳しいと思います。



自治会館

総務費

地域おこし協力隊事業の委託料の内容は旧本小の管理状況、定住促進事業の中身は協力隊員の増員による活動経費増によるものと町内事業者の事業拡大に要する補助金

Q平田議員 地域おこし協力隊事業の人手不足解消に向けた体制構築業務委託の詳しい内容は、旧本小の今年度以降の予定は、どのようになっているのか。定住促進事業の減額になっている理由はなにか。それぞれ説明願いたい。

A企画政策課長 人手不足解消に向けた体制構築業務委託については、特定地域づくり事業協同組合設立や飲食店経営に向かうためのコーディネート、業者が町と協力隊との間に入るにより、町からのミッションと協力隊の意思とのミスマッチを防ぐため伴走支援を行い、スキルアップや仕事へのやりがいを高めて定着・独立に対する支援をしていただく業務となります。

旧本小については、管理人を引き受けてくれる方が見つからず、一般開放を断念したところで、今年5月から10月までの期間には、地域おこし協力隊と地域活性化起業者を配置しまして、町内企業等の求人情報の集約・紹介を担うワンストップ窓口への相談者などの対応に合わせて再開したいと思っています。

定住促進事業では、ワーケーションも令和7年度で5年となり、リピーターや情報発信などによる関係人口の増加、また、地域経済への効果については一定の成果を上げていましたが、結果的に関係人口からの移住には至っていないこと、また稼働率や料金収入の関係でも採算が取れていない状況であったことから、5年を一区切りとして、次年度以降継続しないという判断をしたところ

総務費

カラオケの利用頻度は年間5、6程度だが、設備は整えておきたい

Q平田議員 りぷらのカラオケ機器リース料及び通信使用料で実際の利用頻度は、どのくらいなのか。

A総務課長 正確な利用頻度は把握しておりませんが、年間のイベント数が37回ほどで、使用したであろうイベントが5、6回程度ですが、結婚式等も可能な施設ですので、今後も設備等は整えておきたいと考えておりません。

衛生費

葬苑の管理運営について現場を確認しながら検討する

Q上田議員 葬苑の休憩所、トイレ等の清掃があまり行き届いていないとの声がありますが、いかがでしょうか。

A福祉課長 そういう声があり、委託者にも指示をしながら使用前に職員で見回り等を実施して、現場を確認しながら次年度以降検討していきたいと思っています。

農水費

新規養殖昆布起業者への支援内容は漁具資材や倉庫の増築、購入費支援

Q高坂議員 特定有人国境離島漁村支援交付金は、どのような支援内容なのか。

A 産業振興課長 鴛泊地区から1名、鬼脇地区から2名が新たに養殖昆布漁業に起業することから、和船の購入、機器・漁具資材の購入、倉庫の増築、取得等に要する経費として、総額3,250万円の支援をするものです。

農水費

ウニの種苗放流の状況は

データを集めて、意見集約して

Q 佐々木議員 離島漁業再生支援交付金でウニの種苗を購入して各海域に放流していますが、その結果どういう状況なのか。また、籠養殖の状況についても教えてください。

A 産業振興課長 鴛泊・鬼脇両漁業集落で実施しておりますが、放流後の追跡調査は目視によるもので、細かいデータはありません。また、籠養殖についても鴛泊港内で行っていますが、冬期間の減耗が激しい状況だと聞いております。



ウニ種苗放流

Q 佐々木議員(再質疑) 隣町でも30年以上前から種苗放流を行っているが、あまり効果がない状況だと聞いていて、昨年、地下水を利用して陸上で餌を与えながら養殖して見たところ、大きく育ちました。現在の状況を考えたとき、一つの手段だと思いますが、町長いかがですか。

A 町長 稚ウニを大きくして放流するというのでは、当然生存率はよくなるだろうと思いますし、ここ数年のウニの水揚げ量が減少していることを考えれば、素人の私でもそういう気がします。ただ陸上での養殖事業となれば大変な部分もあると思いますが、漁業者、漁協関係者が一体となり、町が応援するというプロセスができれば、ある程度成功すると思いますが、そのためには、まずはデータを集めて確立させなければ先に進まないと思っておりますし、意見を集約して、これからまた漁協とも話し合いの場を持ちながらやっていかなければならないということは、重々理解しておりますので、ご理解賜りたい。

商工費

飛鳥Ⅲの寄港に合わせたイベントの予定は 関係機関と連携しながら対応する

Q 高坂議員 飛鳥Ⅲが、7月に鴛泊港へ寄港すると聞いていますが、何かイベントを考えているのか。

A 産業振興課長 7月30日利尻島に到着予定となっておりますが、具体的な中身については、まだ決まっておりませんので、歓迎セレモニーやイベントの実施に向けて、観光協会、漁協、活性化協議会等とも連携しながら、対応していきたいと考えております。

商工費

測量調査の目的は

土地の境界線の表示を明確にしたい

Q 上田議員 白い恋人の丘測量業務委託料は、どのような目的で行うのか。

A 産業振興課長 沼浦展望台の一番上の駐車場付近の土地を賃貸借契約で使用していますが、国有地と民有地の境界を表示して、適切な維持管理を図りたいとするものです。

商工費

電動キックボード事業は どのようなものか

2次交通の不足を補う手立てとしたい

Q 平田議員 観光協会補助金で電動キックボードの実証実験と説明がありました。こういった事業なのか。また、継続していくのか。

A 産業振興課長 利尻島観光の課題として、島内での2次交通の不足という部分で、1つの解決策になりうるか



電動キックボード

どうかの実証を行うもので、6台導入し町内にポイントを設けて乗り捨てできる形で実施し、試験結果がよければ、続けて行きたいと思っています。

土木費

避難誘導看板は、どのような特徴なのか
町民や観光客を安全に誘導する防災サイン

Q高坂議員 街並み環境整備施設工事請負費で避難誘導看板11基設置は、どのような機能、特徴をもったものなのか。

A建設課長 一般的な案内看板ではなく、災害時に町民や観光客を安全に避難場所へ誘導するための防災サインとして整備するもので、単価的には割高ですが、耐久性や長期的な維持管理に優れ、ソーラーパネルによるLED照明と長寿命化バッテリーを備えた特徴を持っています。

土木費

工事発注時期を考慮していただきたい
昨年同様の施工計画で対応する

Q岡本議員 街並み環境整備施設工事請負費では、漁時期の土砂流出や交通障害等を考慮しての工事発注としていただきたい。

A建設課長 5月に発注し、10月までの工事を予定しておりますが、海への土砂流出等を考慮した昨年と同様の施工計画で対応を考えています。

土木費

債権回収業務で回収しようとする金額は
4名分、約270万円

Q平田議員 債権回収業務委託料の説明で、3件という話でしたが、回収しようとする金額はいかほどか。

A建設課長 住宅使用料の滞納関係を整理するための委託料で、滞納者4名分、金額で約270万円となっております。

消防費

遭難時の救助費用は、誰が支払うのか
要救助者が支払う

Q上田議員 山岳遭難救助対策事業では、遭難者が全額支払うものなのか。最近では、外国人によるバックカントリーの事故が増えているので、その辺りでしょうか。

A企画政策課長 基本的には要救助者から全額もらうという予算の組み方をしており、最近ではヘリでの収容ができておりますので、救助隊の出動は減っております。また、冬山装備はありませんので、その辺は道警の山岳救助隊にお任せしております。



教育費

給食費無償化分負担金の増額要因は
鷺泊スキー場ヒュッテ建設に向けた防火対策は保護者負担分を無償化分に振り替えて計上業者が決まった段階で協議する

Q大森議員 利尻富士町児童生徒給食費無償化分負担金は、当初限られた期間で約600万円前後でしたが、年々増加している要因を説明願いたい。また、鷺泊スキー場ヒュッテ建設に関して、現段階でどういった防火対策を持った計画になっているのか、伺います。

A教育長 昨今の物価高騰に伴い給食材料費が、12・8%増で今年度の予算を組んでおります。本来保護者が負担する給食費を小学生で800円、中学生で1,000円値上げさせてもらう分、いわゆる無償化分が増加しております。

A教育委員会次長 4月早々に設計の発注を予定しておりますが、防火対策、耐火構造といったことについても業者が決まった段階で協議していきたいと思っております。

教育費

この補助金は、どのようなものか
中学生の野球クラブに対する活動補助金

Q伊藤議員 地域クラブ補助金とは、どのようなものなのか、説明願いたい。

A企画委員会次長 学校部活動の地域移行事業として、バドミントンとサッカーを先行して委託料で計上しておりますが、今現在活動している、中学生の利尻礼文野球クラブに対する活動補助金となっております。

教育費

助成金の内容は

上限55,000円の助成金

Q 高坂議員 新規事業の利尻高校入学者学習用端末購入費助成金は、入学者全員に対するものなのか、また継続事業なのか、伺います。

A 教育委員会次長 利尻高校へ入学する中学生を対象に予算計上しており、1人当たり55,000円を上限に新年度からの事業となっております。利尻高校への入学勧奨も含めて、今後継続を考えております。

教育費

端末を購入後の取り扱いは

個人所有となり、返還無用

Q 上田議員 利尻高校入学者学習用端末購入費助成金で自己負担分55,000円に満たない場合の取り扱い、どのようなようになるのか、また、端末を購入後は、その方のものになるのか、卒業後は、返還しなければならぬのか、その辺について伺います。

A 教育委員会次長 助成金の上限が55,000円です。例えば60,000円で購入した場合は、5,000円の自己負担となり、30,000円で購入した場合は、自己負担なしとなります。購入されたものは個人所有のものとなり、返還等は無用です。高校が指定する基準を満たしていれば、中古品やメルカリなどで購入した場合でも、証明書や領収書があれば、この助成金の適用となります。

入 入

入館者数の増加要因は

協力隊を配置して工夫しながら対応している



カルチャーセンター

Q 高坂議員 観光使用料のカルチャーセンター及びつづ館入館料が、ここ数年で大きく伸びていますが、何か対策を講じられたのか。

A 産業振興課長 大型観光バスが通らなくなり、入館者数が減少の一途でしたが、利用を増加させるべく、令和6年度に町民を含めてのワークショップを開催し、7年度からは地域おこし協力隊を配置して、ホームページや専用のSNSも使いながら情報発信をしています。また、展示内容も登山できない人のためのVRによる登山体験やSORAさんの短編映画を上映したり、展示の中身も写真などを増やし、いろいろと工夫しながら対応していることが、利用増加の要因だと思います。

入 入

旅先納税額は

26件、95万5,000円

Q 平田議員 ふるさと納税のうち、旅先納税の額はどのくらいあるのか、また、この先の目標額やそれを実現させるための施策など、考えていることがあるのか。

A 会計課長 ふるさと納税全体の額では2万9千件、約6億4,200万円で、そのうち旅先納税については、26件で95万5,000円となっております。目標額については、予算計上しております5億5,000万円を目標に関係各機関また中間業者と連携を図りながら、新たな返礼品の開発だとか、納税者のニーズに合うような寄付額の設定等を考えていきたいと思っております。

総括質疑

■伊藤議員 町長は4期目ということで、毎年度6つの柱で所信表明をしております。今期の福祉関係では健康寿命の延伸を目指すということでは、町民に対する最大の言葉だと思っております。ところが、今年の保健センター事業計画の中で地域保健事業計画というのがありますが、これを見ますと、過去2、3年同様な項目が並べられている、羅列されているということ、新しい保健、福祉というものを考えていなかったのか、どのようなか伺います。

【町長】 私も今回4期目ですが、きめ細やかな福祉政策ということで推進していくと掲げております。その都度都度、その時代の背景によって、いろいろと変わって



くると思うのですが、福祉政策というのは、終わりのない政策の1つだというふうにも感じております。12年前に町長になってから、当時の福祉政策もいろいろありましたけれども、その時代の流れによって、町民のいろいろの要望、また議会からの要望というのいろいろと変化して行くので、そういう中では自分なりに、保育料の無償化や子ども医療費の無料化、高校生の通学の関係、進学、修学する時の教育支援など、各種事業計画にあります。いろいろな各種検診等の自己負担の引き下げも実施しました。また、帯状疱疹や肺炎球菌などの助成もしましたし、難病者や特定疾患の方々の通院に対する宿泊費、交通費の助成など、様々なことをやって来ました。保健計画の中にもあると思いますが、医療技術者等の採用をするための修学資金の増額や本町で就職してもらうための奨励金の創設など、その時代時代にあつた福祉政策を自分なりに、やってきたというふうにも思っております。また、今やっている福祉政策は、当然継続して行かなければならないし、その年代年代によっていろいろな要望も変化して行きますから、それに対応して行かなければならないというのは、重々分かっております。

特に1番大事にして行かなければならないと思うのは、自助・共助・公助、それに互助を足してもらい、地域包括ケアサービスの全部が繋がって行けば、重要な福祉政策もできるのだろうと思えますけれども、なんせケアプランを作る職員もなかなか人数も少なく、そういった中では、包括した福祉政策ができればいいのですが、これからそちらの方にも力を入れて行かなければ駄目だなどというふうにも思っております。ただ1つ、4期目に1番考えなければならぬのは、集落、自治会単位の地域がものすごく人口減になって、高齢化して大変な思いをしているだろうと見ています。そういった中では、交通システム、通院や買い物支援など、交通体系を作つてあげないと、なかなかその集落に住んでいる高齢者の人方も大変だろうなというふうにも思いますし、任期中にできるか、できないかは分かりませんが、それは進めて行かなければならないと思っております。そのほかにもいろいろ福祉政策に対して要望等もあるのだろうと思っておりますけれども、特に今年、地域懇談会も復活します。地域に出向いてより一層そういう福祉の声を聞きながら、1つでも達成できるようにして行きたいと思っておりますので、福祉政策はこれで終わりだということ、これで良いというようなことはありませんので、これからも町民の方々や議会の声を聞きながら、進めて行きたいと考えております。

■戸嶋議員 自然環境景観保全の対策に取り組んで行くのとありますが、今、他町村ではメガソーラー問題がマスキミを騒がしております。そういった中で、行政が土地を買収するということもあると思いますが、我町では、そういう業者が入ってきた場合に、どのように対応するのか。また、民地ではあります。山林などが売買されて、それを無許可で開発されるというような事件も起きていますと聞いております。そういった場合、町としてどういうふうに対応するのか。実際、富士岬地区に小型風力発

電を作ろうという業者が、1度来たことがあると記憶しておりますが、その時はどのように対処したのか、経緯などを教えていただきたい。

【町長】執行方針の中で自然環境の保全対策というような言葉を使いながら、景観を守って行くということ、述べておりますが、確かに、旅行先に利尻島を選んでくれたアンケートでも、自然と景観ということが上位にランクされているとなっております。一昨年、国立公園の50周年記念ということで、私は、いつも国立公園は国民の財産で癒しの場であるというふうにも申し述べております。国立公園の自然景観を守るのは利尻島に課せられた責務だということに思っております。それは、行政が当然守つて行かなければダメなものだろうと感じておりますけれども、新聞でもニュースでもやっておりますけど、首長が買取あるいは保証をして、大変苦渋の決断だというような言葉も述べておりましたし、それに対して北海道知事もいろいろコメントなさっております。ただ、前には太陽光の関係もありましたが、その土地の買取等に対しての法律の縛りが、どうだったのかというように、うなことから始めると、おそらく法律上は問題なかったのだろうというふうには思っておりますし、そういった関係では観光地ですから、それに対して自治体を守るためには、最良だったんだらうと判断しての自治体のことだと思えますけれども、富士岬の小型風力の話もされておりましたが、あの時は確かに、小型風力発電の電気の1キロ当たりの価格が、国に定められた金額はものすごくいい金額で、これは商売になるなということでの判断で業者も来たと思えますけど、金額的なことだけを申せば、お金ある人はおそらく全員やりたかったと思います。町としてどうなんだということであれば、当然、海岸線なり裾野に小型風力がたくさん立つことによつては、景観を損なうということで、町としては駄目ですよというガイドラインを作つて、それに伴って業者も撤退して行つ

たのだろうというふうに通じており、ますし、いろいろとそういう面では、守って行かなければ駄目な部分もありますけど、樂觀視しているわけではないですが、太陽光発電とかとなると相当な面積も使うので、利尻島と本土には送電網がないですから、ここで電気を起こしても、送電網がないってことは電気を買ってくれないわけですから、島内で消費するしかないの、それに見合うコストがどうかとなると、おそらく商売にならないと思つて、太陽光発電の関係は、私は来ないだろうというふうに通じて、樂觀視はしていませんけど、だからと言つて、何もしないというわけでもありませんが、確かに土地の売買についての何m以上は届け出というような義務もありますから、そういうものでは判断して行けるのですが、民地をたくさん持っている人もいるかとなれば、おそらくそんなにいないので、それはチェックして行けば、売買についてのそういうことは可能だというふうに通じています。再生可能エネルギーの関係でそういう業者がここに来るのかということになれば、おそらく無理なんだろうというふうに通じて、まずないだろうというふうには考えてはいるんですけども、万が一あれば困るので、例えば、国立公園ですから、そのネットを広げてもらつて、そういうことを環境



国立公園50周年式典

省と話しながらやつてもらふように要請したり、北海道も動いていると思うので、そういうことになれば新しい法整備ができると思いますし、ただ心配なのは、外国人の方が利尻富士町のどこか民有地を買つて、何かするということのようなことになれば、これはまた大変なので、その辺は常に目配りしながらやつて行かないと、個人の財産ですから、こういうことであるから売買はダメですよつていうような地方自治体が、強い強制力を発することが良いのか悪いのか、これから考えて行かなければダメな部分もありますけど、心配なさっているのは、当然だろうというふうには思いますし、これから北海道等々、国立公園ですから、どういふことが可能なのか、話をしながらそういうことがないように売買までなされないように気をつけながら、自然景観を守っていくというのが、自治体の長に課せられている部分もありますので、ご理解賜りたいと思います。

■佐々木議員 今現在、鬼脇診療所の近藤医師が不在ということ、これからの医療体制がどのようになるのか、もし分かれれば説明願います。

【町長】今回、近藤先生が緊急搬送されてからの関係だと思つて、3月6日金曜日だったので、土日挟んで9日の週は休診というふうに通じて、防災無線でも流れておりましたが、来週の週明けの16日からの週は、代替の先生が来て代診してくれるというふうなことで連絡が来ていました。その次の週以降のようになると、まだ北海道からも連絡が来ていませんが、鬼脇地区の住民ばかりでなく、島民の医療の関係でも大変心配ですけど、町では老健も近藤先生に診てもらつていっているので、心配でしたけど、老健の入所者の薬だとか切れる人もいるので、副町長と施設長で国保中央病院に向いて、お願いして来てもらつているので、とりあえず現段階ではそこまでのことしか言えませんが、退院の日にもより

ますが、長くなるようであれば、また道庁と掛け合いますが、やつていきたいと思つていますので、ご理解賜りたいと思つています。

■上田議員 学校運営協議会コミュニティスクールを縦軸とし、漁業・観光・環境保全・文化伝承等の人材を登録制で可視化し、学校教育と社会教育の双方で活用する共通人材バンクの整備を模索とありますが、これを噛み砕いて、どういう目的なのか、意義などを含めて説明いただきたい。

【教育長】学校運営協議会という組織は、地域と一体となつて特色ある学校づくりを目指す組織なのですが、これは地域の人に替わりに授業をやつてもらふということ、絵画やスキー指導、水泳指導、書写など授業の中で地域の人に来てもらつて教えてもらつています。そのつなぎ役を学校運営協議会でやつていっているという流れになっています。これからの総合的な学習の時間のあり方ということでは、教科の枠を超えたもので自分その課題を見つけないで、主体的に探求しながら問題を解決するという、例えば、地域に出て体験活動とか、フィールドワーク、そのあと言語活動という、その体験したものをみんなで話し合いながらコミュニケーションを取つたり、そのものに対する情報収集で、その収集したものの整理分析などをして、最後はプレゼンしたりという、一体的なプロセスの中の総合的な学習という目的があるものです。その地域のふるさと学習というところで位置づけを取り組んでいるんですけど、例えば、漁業ですとウニとか昆布、鮭、ホッケなど、いろんな魚種があったり、漁の方法があつたりすると思うんです。それと観光ですと、どんな観光資源があるのかとか、どんな施設があるのかとか、環境ですと、山、森林、花とかあります。それと文化ですと、歴史や人物、いろんな地域にこの利尻島に様々な学習できるような資源がたくさんあると思う

のです。それを地域の誰に教わった方がいいのか、聞いた方がいいのか、話してもらった方がいいのかということが、総合的な学習の時間の中で先生達も悩んでいる部分でもあるので、そこを教育委員会で解決できないかというのが、この1年ぐらい考えていまして、これを道付けしたいと考えています。先生たちは4年、5年で異動、転勤して利尻に赴任したりしていますが、その地域のこと、地元のことをあまり深く理解できないまま、他の学校に転出して行くものですから、そういった意味でも地域学習で、誰にどんなことを聞いたらいいのかというのが、すごく大事なことだということで、先生方に少しでも子供達のために総合的な学習の時間をうまく使えるような仕組み作りをできたらいいと思っていて、人材バンクをデータ化できればいいと考えていたところなんです。小中一貫の9年間で、そういった探求活動が深い学びの実装に繋がるということで、これから期待して行きたいところではないです。子供達がその地域社会で生きていく力になれるような学力をつけて行けるかが、今問題として掲げられて整理されているところですので、将来を見据えた子供達の育成のために、着手できたという考えでありますので、ご理解いただきしたいと思います。



総合的な学習の時間

専決処分及び条例改正等

□専決処分（令和7年度利尻富士町一般会計補正予算（第8号））の承認を求めるところについて
歳入歳出それぞれ4,420万円を追加し、総額を61億7,809万1千円と定めるもの 【承認】

□利尻富士町過疎地域持続的発展計画の変更について
計画期間を令和8年度から令和12年度までの5年間とし、計画期間及び計画内容を変更するもの 【原案可決】

□一般職の任期付職員の採用に関する条例の制定について
民間人材等の採用の円滑化を図るため、公務に有用な専門的な知識経験等を有するものを、任期を定めて採用し、その専門性等にふさわしい給与を支給することができるよう、本条例を制定するもの 【原案可決】

□利尻富士町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
法律の改正により、生後6ヶ月から満3歳未満で保育所等に通っていない子供を育てている家庭が、月一定時間までの利用可能枠の中で就労要件を問わず、時間単位等で柔軟に利用できる新たなツウエイ事業として、子ども誰でも通院制度が創設されたことに伴い、本条例を制定するもの 【原案可決】

□利尻富士町保育所条例の一部改正について
入所定員の減を定める一部改正

鴛泊保育所 100名から45名
鬼脇保育所 45名から20名 原案可決

□利尻富士町行政手続条例の一部改正について
法律の改正に伴い、行政手続の不利益処分を行う場合に、事前に必要となる聴聞及び弁明の機会の付与の意見陳述手続の通知を公示送達により行う場合の方法について、インターネットによる公表を前提とした規定の改正が行われたことによる一部改正 【原案可決】

□利尻富士町公園条例の一部改正について
物価高騰により施設の維持管理経費が増加しているほか、施設の利用を促進する目的から使用料の見直しを行う一部改正 【原案可決】

□利尻富士町都市公園条例の一部改正について
物価高騰により施設の維持管理経費が増加しているほか、施設の利用を促進する目的から使用料の料金体系の見直しを行う一部改正 【原案可決】

□利尻富士町社会教育及び体育施設の設置並びに管理に関する条例の一部改正について
利尻島郷土資料館の入館料について、昭和60年の料金改正以来据え置きの状態であったため、町内他施設との料金比較や近年の維持管理経費増から一般料金の見直しを行う一部改正 【原案可決】

□利尻富士町ふるさと創生基金条例の廃止について
昭和63年から平成元年にかけて、全国市町村に一律1億円を交付した流れの基金であり、自ら考え、自ら実践する地域づくりを推進する活動団体、また利用実績見込みが今後見込まれないため、廃止するもの 【原案可決】

編集後記

利尻富士の雪解けが進み、春らしい陽気も増えてきた今日この頃、町民の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

去る3月議会において、一般会計及び特別会計、公営企業会計合わせて、総額約79億円の新年度予算を可決いたしました。限られた財源の中、住民の皆様の暮らしをより良くするための施策が着実に実行されるよう、議員一同、今後の予算執行状況を引き続き注視してまいります。

本号がお手元に届く頃には、ウニ漁の解禁を目前に控え、本町の基幹産業である漁業・観光ともに最盛期に入っていく時期かと存じます。けがや事故などに十分ご留意いただき、皆様それぞれが充実したシーズンをお過ごしくださいますよう、ご祈念申し上げます。

広報・広聴常任委員会一同

議会に行こう!

議会傍聴は議会活動に触れるもっとも身近な方法です。皆さんの選んだ議員の活動や町政の方針などを是非ご覧ください。会議当日の受付で傍聴できますので、役場3階傍聴席入口までお越しください。



広報・広聴常任委員会

委員長／佐々木 勝

副委員長／高坂 敏夫

委員／戸嶋 郁夫

上田光斗夢

大森 智樹

飯田 睦穂

平田 徹

伊藤 信勝

岡本 晴樹

議会の詳しい情報は利尻富士町ホームページへ

<http://www.town.rishirifuji.hokkaido.jp>

委員会レポート

■議会運営委員会 (3月4日)

定例会3月会議の運営に係る協議

■広報・広聴常任委員会 (2月10日)

議会だより利尻富士No.209の編集についての調査及び協議

議会日誌

- 3月1日 利尻高校卒業式
- 4日 議会運営委員会
- 11日 定例会3月会議 (～13日)
全員協議会
- 13日 鴛泊中学校卒業式
- 14日 利尻小学校・鬼脇中学校合同卒業式
- 16日 利尻郡学校給食組合議会
利尻郡清掃施設組合議会
- 17日 利尻礼文消防事務組合議会
利尻島国民健康保険病院組合議会
- 19日 鴛泊小学校卒業式
- 4月3日 教職員着任式
- 7日 利尻小学校・鬼脇中学校合同入学式
- 8日 鴛泊小学校入学式
鴛泊中学校入学式
- 13日 宗谷町村議会議長会定期総会 (稚内市)
- 20日 利尻富士町港湾漁港審議会
- 25日 利尻富士町観光協会総会
- 28日 利尻郡清掃施設組合臨時議会
- 5月9日 北海道植樹祭 (枝幸町)
- 13日 定例会5月会議
広報・広聴常任委員会
- 19日 宗谷管内町村議会議員研修会 (稚内市)

議会議長あての文書は 直接議会事務局へ

議会議長あての文書や案内状は、日程等の調整をする必要がありますので、恐れ入りますが直接議会事務局へお送り願います。

●送付先：利尻富士町役場3F

利尻富士町議会事務局 (議会議長) 宛

直通電話：(0163)82-2512

メール：gikai@town.rishirifuji.hokkaido.jp